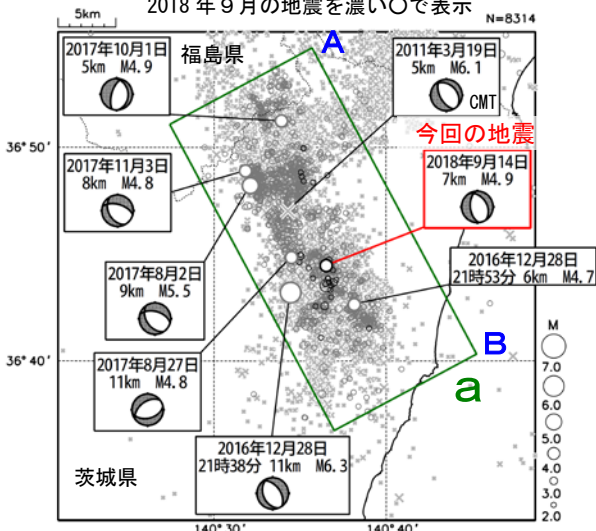
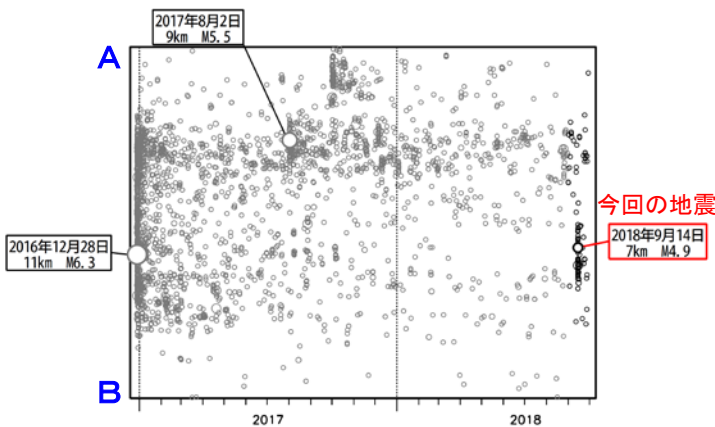


9月14日 茨城県北部の地震

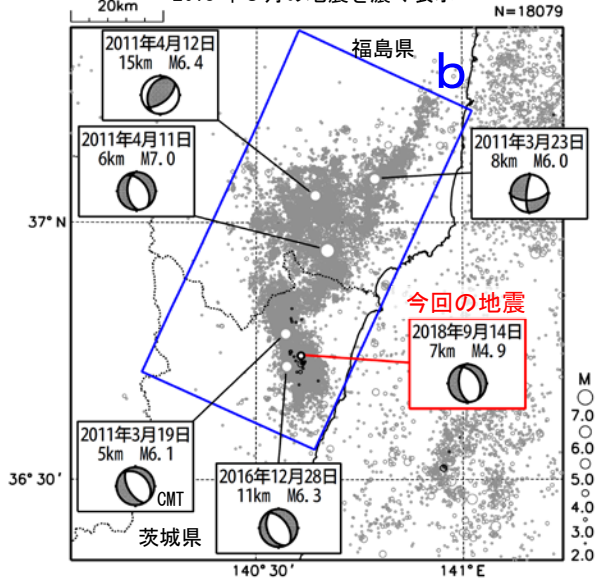
震央分布図
(2011年1月1日~2018年9月30日、
深さ0~20km、 $M \geq 2.0$)
2016年12月27日までの地震を薄い×で表示
2016年12月28日から2018年8月31日の地震を薄い○で表示
2018年9月の地震を濃い○で表示



領域a内の時空間分布図 (A-B投影)
(2016年12月28日~2018年9月30日、 $M \geq 1.5$)



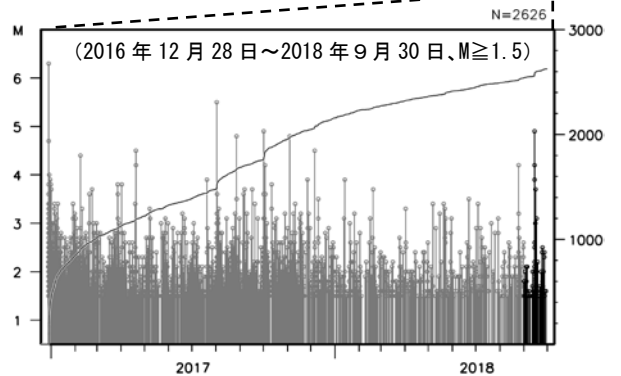
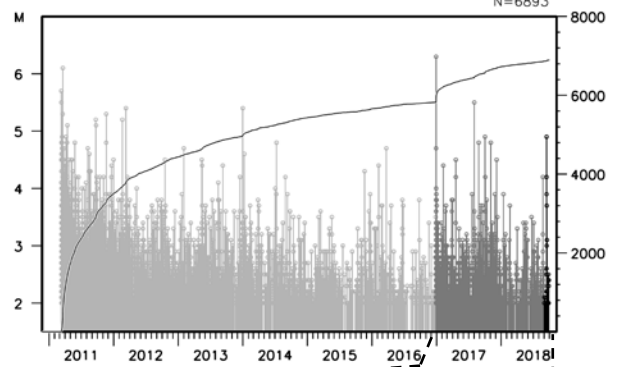
震央分布図
(1997年10月1日~2018年9月30日、
深さ0~30km、 $M \geq 2.0$)
2018年9月の地震を濃く表示



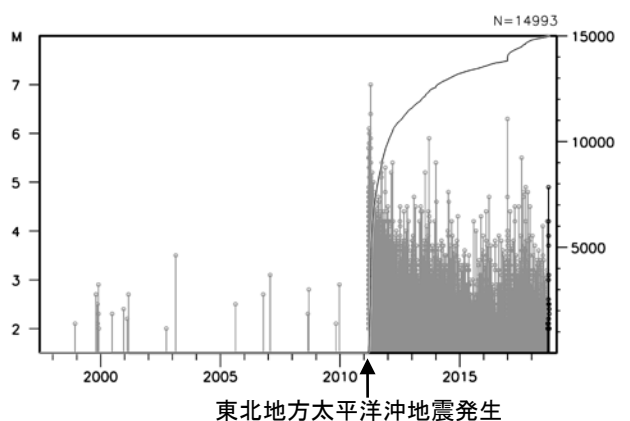
2018年9月14日14時35分に茨城県北部の深さ7kmでM4.9の地震(最大震度3)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。この地震は、2016年12月28日のM6.3の地震(最大震度6弱)の発生以降にまとまった地震活動がみられている領域内で発生した。この地震の発生後、震央付近では14日17時26分にM4.2の地震(最大震度3)が発生するなど、地震活動がやや活発となった。

1997年10月以降の活動をみると、福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内(領域b)では、東北地方太平洋沖地震の発生後に地震活動が活発化し、2011年4月11日に発生したM7.0の地震では、死者4人等の被害が生じた(被害は総務省消防庁による)。この活発な地震活動は徐々に減衰しつつも継続している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図及び回数積算図



東北地方太平洋沖地震発生